

七中だより

絆・シクラメン・ ~3つの「み」~



副校長 廣瀬 尊貴

花屋の店先にシクラメンが並び季節となりました。我が家の玄関のシクラメンも薄紅色の花を咲かせています。300円で買った小さなポット苗が夏を越し、3度目の冬を迎えます。猛暑をしのぎ健気に咲く姿に、丹念に育てた愛情が伝わったのかなと感じているところです。巻頭言を綴るに当たり、皆様へ以下のことをお伝えします。



まず、生徒の皆さんへ。「(み) 見つめる」ことに取り組んでください。世界はICTの急速な発展により目まぐるしく変化しています。その影響を受け、多くの若者が自分を見失い、将来が見えず悩んでいます。皆さんも例外ではないでしょう。こうした状況の中で大切なことは、自分が何をしたいのか真摯に見つめることです。あらゆる情報が様々に形を変えて入ってきますが、一度決めた道は安易にあきらめることなく、勇気をもって進んでください。あなたが見つめ歩む道には、あなたしか経験できない人生が待っています。つまりいたら立ち上がればいいだけのことです。

次に、保護者の皆様へ。子供たちを「(み) 見守って」ください。

中1の古文のテストの出来事です。

問題「おごれるものはひさしからず」とは、どういう意味を表すのか答えなさい。

回答 お金でジュースなどをおごってくれる友達との付き合いは長くは続かないこと

古文に全く興味のなかったA君は上記のような答えを書きました。テスト後、得意げに話すA君は周りの友達が引いていくのを感じました。担当のK先生は怒ると学校で一番怖い先生だったからです。自分の愚かさを後悔しても後の祭り。返却の日、恐々として答案を受け取ると×印の横に「発想が豊かです。座布団1枚!」という添え書き。A君にはK先生のなごやかな表情がお釈迦様に見えたそうです。これを機にA君は俄然古文を勉強しはじめ、国文科を志望したそうです。

もちろん、子供に声をかけたり、叱咤したりすることは必要です。しかし、過度は却ってマイナスになります。子供たちが試行錯誤しながら成長していく姿を辛抱強く見守ってあげてください。必ず、いつか何かが発火点となり、目標を見つけ出すはずです。かつてA君だった私のように。

さらに、地域の皆様へのお願いです。私たちの「(み) 味方」になってください。本校は、おおさわ学園として、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校として発足し13年目です。おかげさまで子供たちは勤勉で素直な子に育っています。皆様との合同行事やボランティア活動を通して、奉仕する喜びと故郷を愛する心を身に付けました。

一方で繊細で真面目な性格が災いし、壁に突き当たったときに逃避する傾向があります。そんなとき、コミュニティを同じくするサポーター、アドバイザーとして、味方になり支えてください。

以上、3つのみを礎に生徒、保護者、地域が一体となり、絆が結ばれることを願ってやみません。



「いってらっしゃい」今朝、家族と一緒に、シクラメンにも声をかけられた気がしました。

「ありがとう。そういえば、キミの花言葉って、確か『絆』だったね」

第23回中学生意見発表会



題名は「家畜に幸せを」でした。生きとし生けるものに対し、畏敬の念を抱く必要があることを訴える発表でした。以下に全文を掲載します。

「家畜に幸せを」

2年C組 原木乃香

最近の日本では、虐待や差別など、人権侵害に関するニュースがたくさん流れています。動物はどうでしょうか。犬や猫の殺処分の問題については、世間からの関心が高いと感じるのですが、家畜たちの現状はあまり知られていないのではないのでしょうか。私は「人権」ならぬ「家畜権」について考えたくになりました。

先日、技術の「生物育生に関する技術」について授業を受けていたとき、先生から衝撃的な話を聞きました。世界三大珍味の一つ「フォアグラ」のもとになるカモの育て方の話です。ひどいのはカモのエサやりの仕方です。まず、カモを頭しか出ない袋へ入れて固定して、それからカモの口に無理やりチューブを入れ、大量のエサを食べさせます。こうすることによって肝臓に負担がかかって大きくなり、立派なフォアグラ（カモの肝臓）ができるそうです。あまりにも残酷な育て方だと思いました。

いくらフォアグラが美味しくても、虐待のような育て方をしてつくられることを知ってからは、食べたくないと思うようになりました。カモたちがとてもかわいそうだと思うのと同時に、人間はそこまでして美味しい物を食べたいのかと思いました。日本では残念なことに、虐待されていたり、悪い環境で育てられたりしている家畜がたくさんいるそうです。水や食べ物を十分に与えられていなかったり、ひどいやり方で殺されたり……家畜を生き物としてあつかっていないと思いました。家畜の権利を守る法律はあるようですが、あまり知れわたっていないそうです。

「家畜を守りたい」そう思いました。屠殺（とさつ）をすることは、私たち人間が生きていく上で変えられないけれど、せめて屠殺されるまでの間、自然にできるだけ近い環境で、のびのび自由に育ててほしいです。そして屠殺はできる限り苦しみを与えないような方法であってほしいです。

実際、そのような牛にストレスを与えず育てる方法があるそうです。「山地酪農」という方法です。山地酪農はその名の通り、山に牛を一年中放牧して育てる方法です。これは山地が多い日本の地形にぴったり合っています。牛は野生の草を食べ、のびのびと健康に成長していきます。その牛から取れる牛乳は、とても美味しいそうです。さらに牛がしたふんは土の栄養になり、そこに草が生え、また牛が食べてふんをする。このようなサイクルができるので、山地酪農は牛が幸せだけでなく、エコなのだそうです。

山地酪農のような家畜が幸せに過ごせる畜産が広まってほしいです。しかし、コストがかかるなどのこともあり、なかなか広まらないそうです。

私はこの問題は、私たち消費者も変わるべきだと思います。私はまずこの日本の畜産の状況をもっと知ろうと思いました。そして、幸せな環境で育った家畜の肉を選んで買おうと思いました。消費者がそういうものをたくさん買えば、生産者もそういうものをもっとつくってくれるのではないかと思ったからです。

私たちの命がとても大切なように、家畜の命もとても大切です。私たちは、その家畜の命をいただいているのですから、家畜が生きている間はできるかぎりの幸せをあげたいと思いました。

羽沢小学校の運動会に参加



おおさわ学園の小・中一貫教育の連携を図り、地域に貢献する意欲と態度を育むために、10月16日(土)羽沢小学校の運動会に本校生徒がボランティアとして参加しました。

17名の生徒が低学年の部(1・2年生)、中学年の部(3・4年生)、高学年の部(5・6年生)に分かれ、羽沢小の先生方のご指導にしたがい活動しました。雨模様の天候にもかかわらず、積極的にお手伝いをしてくれたと感謝の言葉をいただきました。



第38回音楽祭を開催

昨年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止になった音楽祭。今年は三鷹市公会堂光のホールを会場として、10月20日(水)2年ぶりに「第38回音楽祭」を開催しました。

コロナ感染を防ぐために、不織布マスクを着用し、学年ごとに全体合唱を、クラスごとに自由曲を歌う形式を取りました。スローガンは「紡ぐ～特別な37ページ目を～」でした。どのクラスも練習の成果をいかに発揮し、美しいハーモニーを響かせていました。

3年全体合唱



第38回 紡ぐ～特別な37ページ目を～



【学年全体合唱曲】 1年「Let's search for tomorrow」 2年「予感」 3年「ひとつの朝」

【学年の金賞と講評】 音楽科 樋口紘子先生より(抜粋)

1年A組「空高く」響きある母音、意識して歌いしっかりと響いていました。

2年B組「あなたへ」フレーズのまとまりを意識していました。若者のもつ感情が伝わってきました。

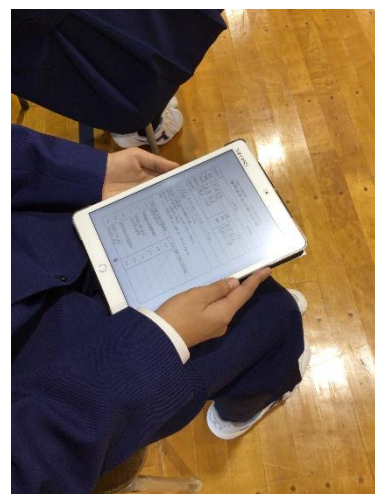
3年B組「虹」曲作りがとても丁寧で、虹の世界観を表現できていました。

【みんなで越えたで賞】E組「超えていけ」ソプラノとテノールの歌声が美しく響き渡っていました。

後期生徒総会を実施



10月22日（金）後期生徒総会を実施しました。議案書をクラス討議した後、中央委員会で質問事項に対する答弁を協議して、生徒総会当日を迎えました。後期生徒総会のスローガンは「交流！ 団結！！ 革新！！！」です。具体的には、交流の機会を増やし、団結を目指し、新しいことにチャレンジしていくこと」という目標が説明されました。他の専門委員会からも、きちんと練り上げられたス



ローガンと活動方針案が示され、自分たちの力で学校を良くしていこうという意欲が感じられました。また、今回より紙の議案書の配布からタブレットにアップされた議案書を使用しながらの生徒総会に、文字通り「革新」されました。

《12月の主な行事予定》

- 1日(水) 三者面談始（10日まで）
ふれあい天文学講演会（③④）
- 2日(木) E組マラソン大会
⑥カット（①②③④⑤）
- 3日(金) ②カット（道③④⑤⑥）
- 6日(月) 安全指導
②カット（学③④⑤⑥）
- 7日(火) ④カット（①②③⑤⑥）
- 9日(木) マラソン大会事前検診
⑤カット（①②③④⑥）
- 10日(金) 三者面談終
①カット（②③④⑤⑥）
- 13日(月) 専門委員会
③カット（学②④⑤⑥）
- 15日(水) マラソン大会(③④)
私立入試相談始
- 16日(木) ⑥カット（①②③④⑤）
- 17日(金) 避難訓練 中央委員会
- 20日(月) 利北っく・パ・リ北っく教育講演会（⑤⑥）
- 21日(火) 自然教室保護者会（2年）
- 23日(木) 大掃除（⑤⑥カット）
- 24日(金) 終業式

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更になることもあります。



大沢地域総合防災訓練へ参加

10月24日（日）おおさわコミュニティ・センターで大沢地域総合防災訓練が行われ、本校の生徒12名が参加しました。非常時の簡易トイレの組み立て、解体に取り組んだ他、消火器を用いた消火訓練にも参加しました。



11月8日（月）より大島 佑水栄養士が産休に入りました。後任として、真田 聡海（さなだ さとみ）栄養士が担当しますので、お知らせいたします。



【お詫び】掲載記事および12月の主な行事予定において、誤りがございました。お詫びして訂正いたします。